

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ インフルエンザの定点あたり報告数は6週続けて、前週よりも減少しています。しかしながら、流行は継続中です。咳エチケット、手洗い、うがい等の感染予防対策を徹底してください。
- ・ 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(50歳代女性)あり、感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は3例となっています。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- ・ アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が1例(50歳代男性)あり、症状はその他(健診の便潜血)、感染地域は国内、感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は5例となりました。
- ・ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(60歳代男性)(第10週追加報告分)あり、症状は菌血症・胆管炎です。本年の累積報告数は9例となりました。
- ・ 梅毒の報告が4例(20歳代男性1例、30歳代男性2例、20歳代女性1例)あり、本年の累積報告数は21例となりました。

梅毒の感染経路や治療、予防等に関しては、下記ホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市衛生環境研究所にゆーす(平成29年度第1号)「性感染症」って何？」

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175313.html>

○厚生労働省「梅毒に関するQ&A」

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点あたり報告数は6.80(469例)となり、第6週以降、6週連続して減少しました。全国でも第5週に54.33を記録したのをピークに報告数が減少し、今週「10」を下回りました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 12例(肺結核 5例, その他結核 3例, 潜在性結核感染者4例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 72例(肺結核 28例, その他結核16例, 潜在性結核感染者 28例)うち喀痰塗抹陽性 12例】
- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数3例】
- ・ 五類: アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)1例【1月以降の累積報告数 5例】
- ・ 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 9例】
- ・ 五類: 梅毒4例【1月以降の累積報告数 21例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点あたり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	6.80	469
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.40	275
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.56	67
	③ 水痘	0.23	10
	④ 突発性発しん	0.21	9
	⑤ RSウイルス感染症	0.16	7
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

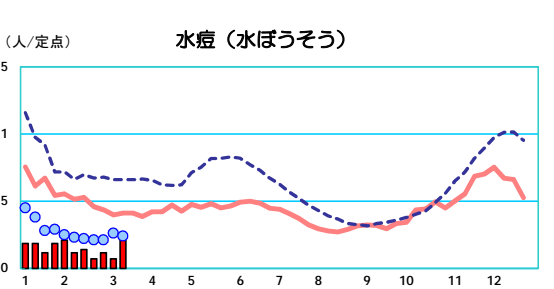
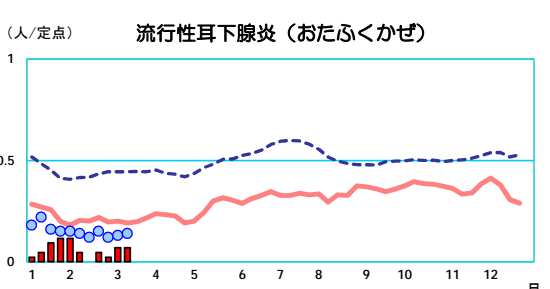
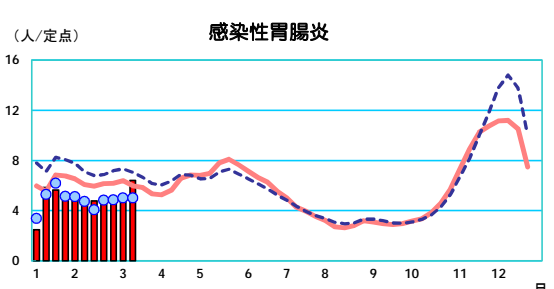
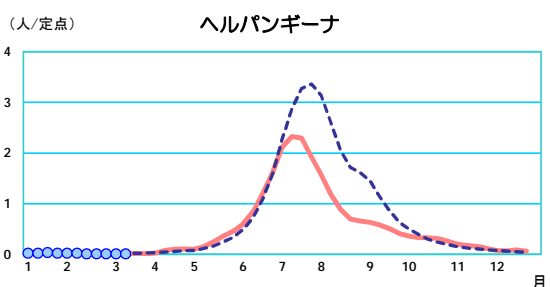
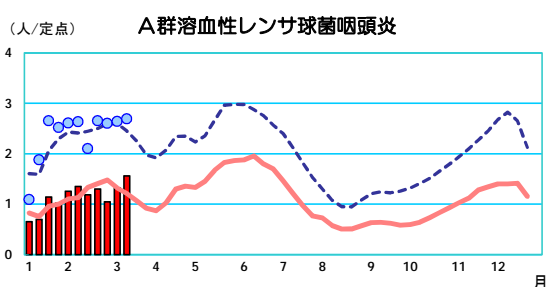
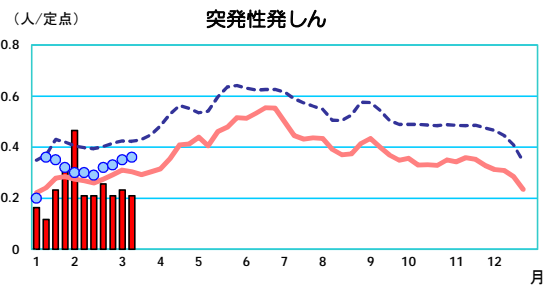
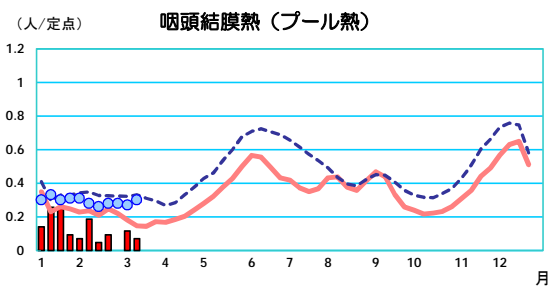
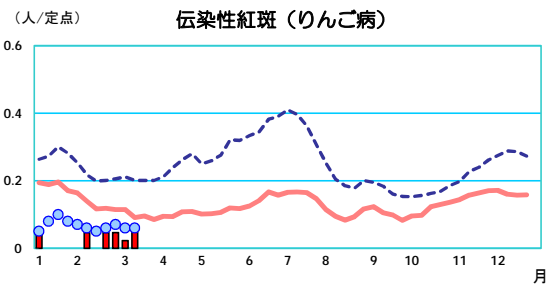
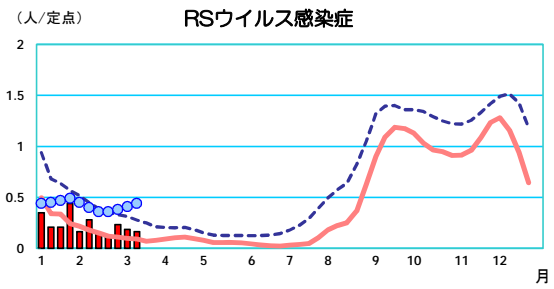
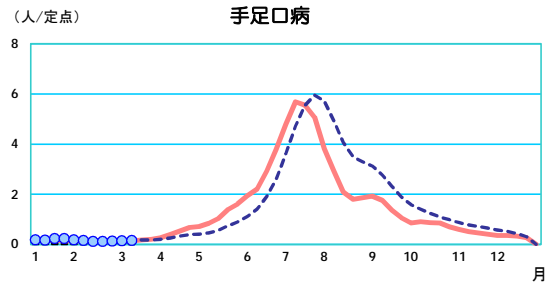
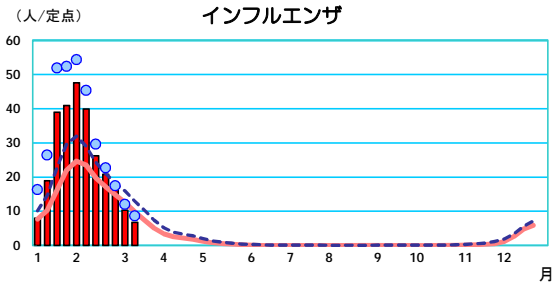
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成30年3月22日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第11週(3月12日～3月18日)トピックス: <インフルエンザ>

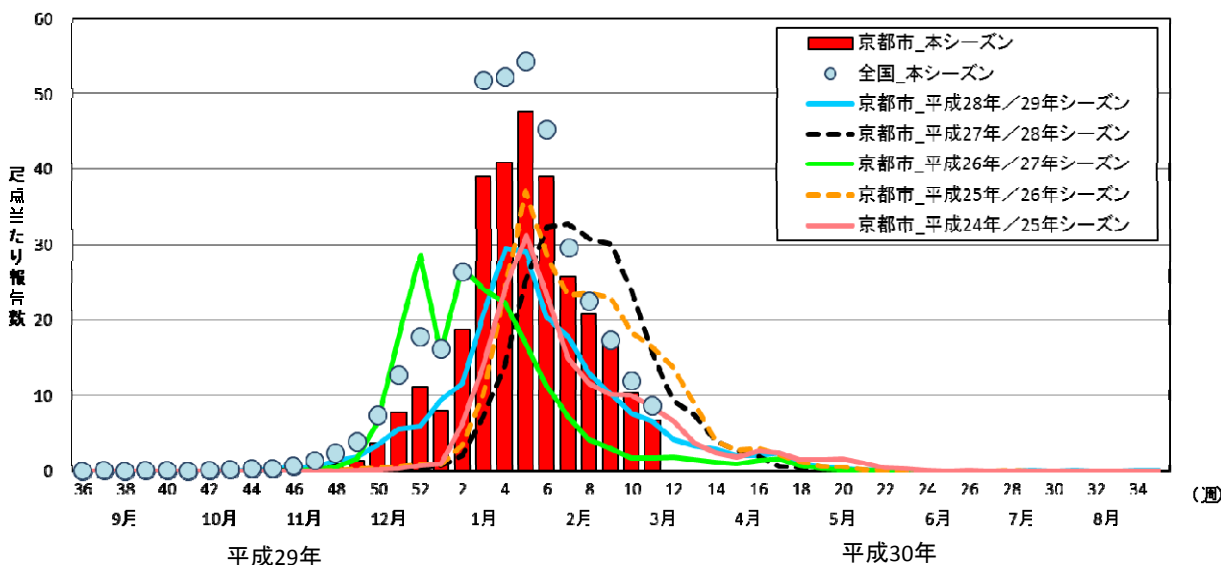
京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は6.80(469例)となり、第6週以降、6週連続して減少しました。全国でも第5週に54.33を記録したのをピークに報告数が減少し、今週「10」を下回りました(図1)。

京都市における今シーズンの流行状況は、平成29年第48週(平成29年11月27日～12月3日)に定点あたり報告数が流行入りの指標である「1」を上回った後、第52週(平成29年12月25日～12月31日)に注意報レベルである「10」を超え、年明けの第3週(1月15日～1月21日)には警報レベル「30」を超えました。報告数はさらに増え、第5週(1月29日～2月4日)に47.64を記録し、平成10年以来の大流行となってピークを迎えました。ピークから6週経過した今週に入り、ようやく「10」を下回りました。今シーズンは流行入りからピークの週末までの期間が9週間と過去5シーズンと比較して最も長くなりました(表1)。

全国のウイルスの分離・検出状況では今シーズンはB型が流行したのが特徴です。過去の状況と比較すると隔年でB型が流行していますが、今シーズンは「流行入り」の早い時期からB型が流行し始めたのが、大流行となった要因のひとつと考えられています。京都市も全国と同じような分離・検出状況を示しています(図2)。

京都市では報告数が「10」を下回りましたが、今しばらくは注意が必要です。手洗い、うがい等の感染予防対策を徹底してください。

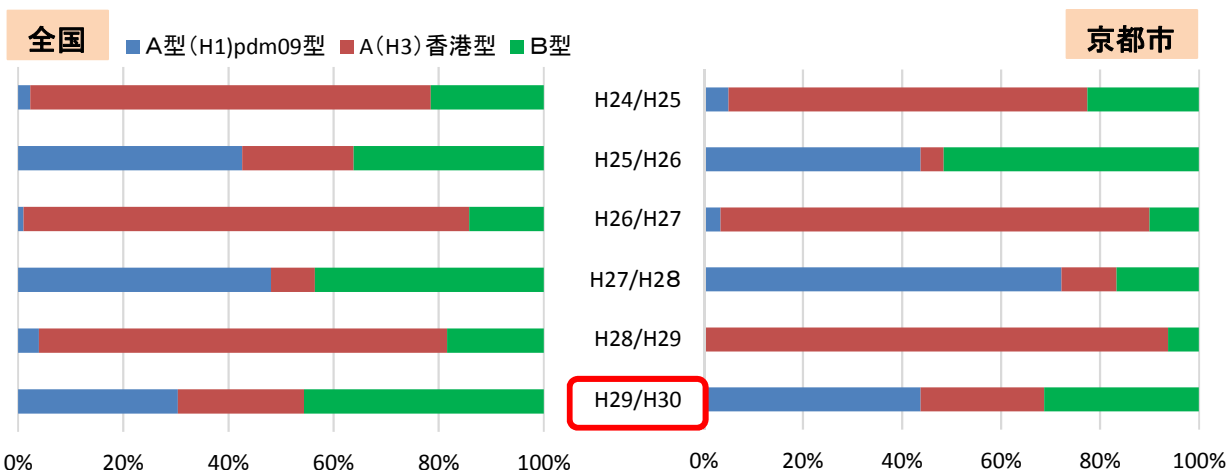
(図1)京都市の過去の定点当たり報告数の推移



(表1)インフルエンザの流行期間(京都市)

シーズン	H24/H25	H25/H26	H26/H27	H27/H28	H28/H29	H29/H30
1.00超の週	第1週	第52週	第49週	第2週	第48週	第48週
ピークの週	第5週	第5週	第52週	第7週	第4週	第5週
ピーク時定点当たり報告数	31.22	37.19	28.63	32.82	29.59	47.64
1.00超～ピークの期間	4週間	5週間	3週間	5週間	8週間	9週間

(図2)インフルエンザウイルス分離・検出状況(全国・京都市)(平成30年3月22日現在)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第11週

疾病,行政区別報告数

平成30年3月12日～平成30年3月18日

データ入手日:平成30年3月22日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎 A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	24	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	35	1	-	6	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	61	-	-	5	85	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	20	-	-	1	12	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	23	1	-	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	22	2	-	-	22	9	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	58	-	-	6	19	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	71	-	-	12	24	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
伏見	91	3	3	22	68	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	54	-	-	13	27	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	469	7	3	67	275	10	3	3	9	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎 A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 (※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (※3)	感染性胃腸炎 (※4)	
男女合計																			
北	3.43	-	-	0.25	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	7.00	0.33	-	2.00	0.67	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	8.71	-	-	1.25	21.25	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	4.00	-	-	0.33	4.00	-	0.33	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	7.67	0.50	-	0.50	7.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	3.14	0.40	-	-	4.40	1.80	-	0.20	0.60	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	3.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	11.60	-	-	2.00	6.33	-	-	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	8.88	-	-	2.40	4.80	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-
伏見	8.27	0.43	0.43	3.14	9.71	-	0.29	-	0.14	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	6.75	-	-	2.60	5.40	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	6.80	0.16	0.07	1.56	6.40	0.23	0.07	0.07	0.21	-	0.07	-	0.10	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象：平成30年第11週

年齢階級，疾病別報告数

平成30年3月12日～平成30年3月18日

データ入手日：平成30年3月22日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ ^(※1)	年齢1	469	2	3	23	20	20	22	22	26	20	22	25	83	15	30	32	42	19	12	14	17	
RSウイルス感染症	年齢3	7	1	1	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		3	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		67	-	-	4	4	7	10	10	2	7	5	4	9	-	5	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		275	1	25	23	27	27	28	19	22	20	12	6	25	5	35	-	-	-	-	-	-	-
水痘		10	-	-	-	-	1	2	1	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		3	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		3	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		9	-	4	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		3	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 ^(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 ^(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 ^(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級，疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ ^(※1)	年齢1	6.80	0.03	0.04	0.33	0.29	0.29	0.32	0.32	0.38	0.29	0.32	0.36	1.20	0.22	0.43	0.46	0.61	0.28	0.17	0.20	0.25
RSウイルス感染症	年齢3	0.16	0.02	0.02	0.09	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.07	-	-	-	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.56	-	-	0.09	0.09	0.16	0.23	0.23	0.05	0.16	0.12	0.09	0.21	-	0.12	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		6.40	0.02	0.58	0.53	0.63	0.63	0.65	0.44	0.51	0.47	0.28	0.14	0.58	0.12	0.81	-	-	-	-	-	-
水痘		0.23	-	-	-	-	0.02	0.05	0.02	0.12	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.07	-	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.07	-	-	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.21	-	0.09	0.09	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.07	-	-	-	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 ^(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 ^(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 ^(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第11週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年3月22日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	2,752	1,809	1,434	1,211	714	469
RSウイルス感染症	12	6	5	10	8	7
咽頭結膜熱	8	2	4	-	5	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	58	51	56	45	57	67
感染性胃腸炎	209	205	205	211	207	275
水痘	5	6	3	5	3	10
手足口病	4	1	1	1	1	3
伝染性紅斑	2	-	2	2	1	3
突発性発しん	9	9	11	9	10	9
ヘルパンギーナ	1	-	1	-	-	-
流行性耳下腺炎	2	-	2	1	3	3
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	1	2	3	4	1
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	3,068	2,090	1,726	1,498	1,013	850

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	39.88	26.22	20.78	17.55	10.35	6.80
RSウイルス感染症	0.28	0.14	0.12	0.23	0.19	0.16
咽頭結膜熱	0.19	0.05	0.09	-	0.12	0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.35	1.19	1.30	1.05	1.33	1.56
感染性胃腸炎	4.86	4.77	4.77	4.91	4.81	6.40
水痘	0.12	0.14	0.07	0.12	0.07	0.23
手足口病	0.09	0.02	0.02	0.02	0.02	0.07
伝染性紅斑	0.05	-	0.05	0.05	0.02	0.07
突発性発しん	0.21	0.21	0.26	0.21	0.23	0.21
ヘルパンギーナ	0.02	-	0.02	-	-	-
流行性耳下腺炎	0.05	-	0.05	0.02	0.07	0.07
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.60	0.10	0.20	0.30	0.40	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	47.69	32.83	27.73	24.46	17.61	15.73

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。